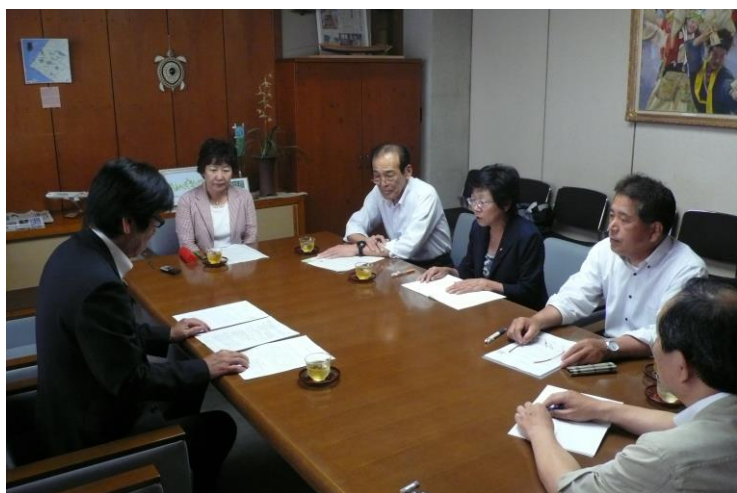




子どもの医療費無料化 副知事「仕組み考えたい」

既に県下25市町村 中学校卒業まで無料

●日本共産党県議団は、さる11日、県知事に対し、全国より10年も先を行く少子高齢化県として、課題解決先進県の呼び名に相応しく「子どもの医療費無料化」に大きく一歩踏み出すよう申し入れました。現在、県下34市町村で、所得制限をせず



中学校卒業まで医療費無料化を実施している市町村は、既に25！また、所得制限をしているものの中学校卒業まで無料化している市も3市と、市町村の頑張りが見られます。

高知市の実施がカギ 「市とは話をしていきたい」

●しかし、最も子どもが多く要望も強い高知市は小学校修学前迄、しかも通院は3歳から所得制限有という遅れた状態であり、副知事も「市とは話をしていきたい」と述べました。

群馬県では平成21年から県として実施に踏み切り、「重症化が抑えられ、医療費が結果的に少なくて済む」と報告されています。若い夫婦に安心の子育てを！

無料法律相談のご案内

7月16日(木)午後6時～8時

●山本尚吾弁護士

場所：愛宕商店街 吉良富彦事務所

(秘密は守られます) ☎855-9439

予約電話下されば確かです。

●6月県議会

20日～7月4日

【代表質問に米田議員】

25日(水)午後1時～3時

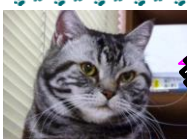
憲法、集团的自衛権、原発等知事の政治姿勢、大学学費や奨学金問題、医療や中央地域公共交通問題など質問します。ぜひとも傍聴にお出で下さい。

●父母の入院と自覚

5月末に、89歳の母が庭で転び圧迫骨折で入院。その3日後、今度は94歳の父が高熱になり緊急入院させるなど、もうてんやわんやの日々が続きました。

その疲れから、6月上旬から10日間程も、今度は私が肺炎一歩手前の症状に陥りダウン！

キラリン にゃんでも通信



「風邪？すぐ直るさう」とたかをくくったのが誤りでした。「気持ちは若い時のままでけど、体は間違いなく年を取り回復力が弱っている」と痛感し自覚したこの頃です。